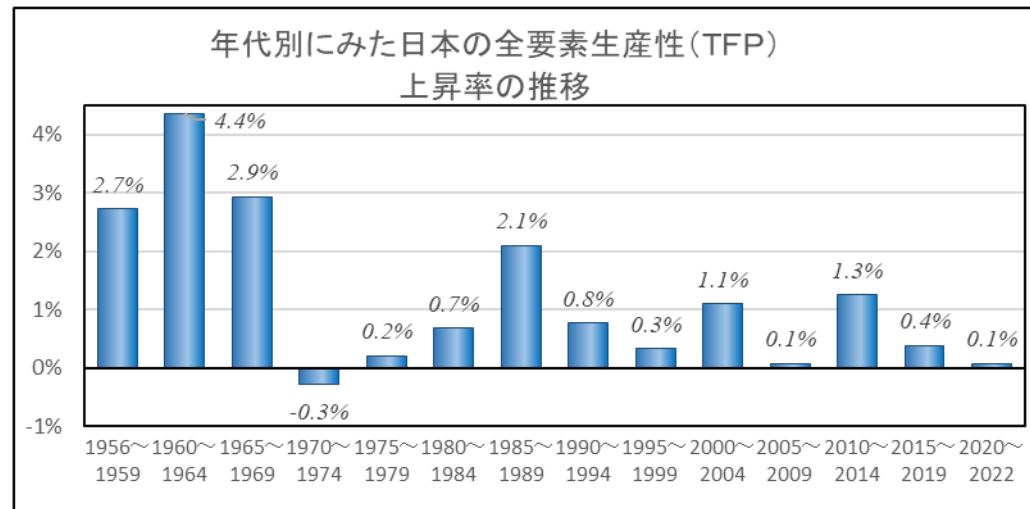
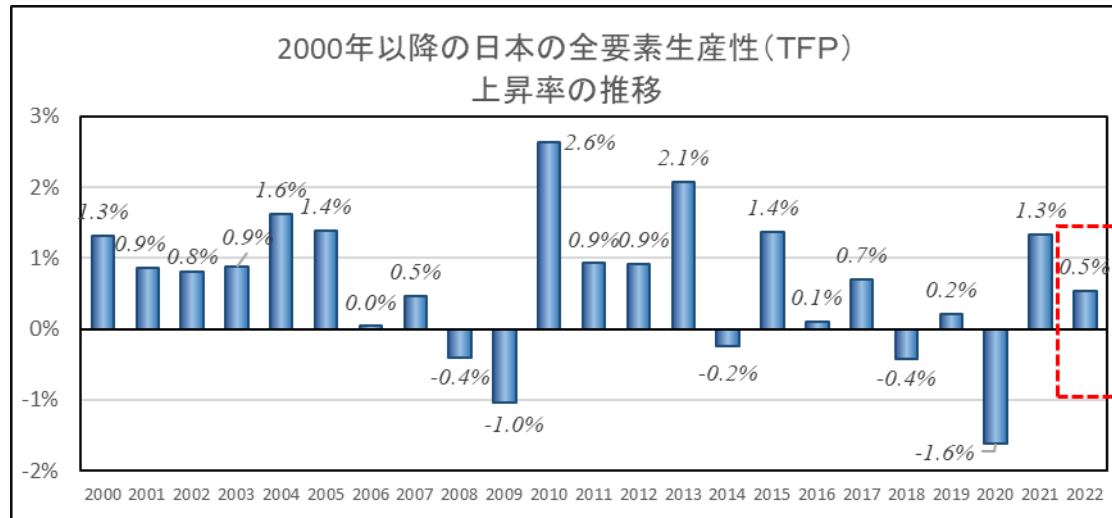


日本の全要素生産性(TFP)の推移

- 2022年の全要素生産性上昇率は+0.5% (前年比)。
- 日本の全要素生産性上昇率は、2000年代前半になって改善。2000年代後半にはリーマン・ショックの影響などで再び落ち込んだ。
- その後、2010年代前半は+1.3%(年平均)と、2000年代前半を若干上回る水準まで回復したが、2010年代後半以降をみると再び落ち込んでいる。



※内閣府「国民経済計算」・民間企業資本ストック・総務省「労働力調査」・厚生労働省「毎月勤労統計」
・経済産業省「第三次産業活動指数」「鉱工業指数」をもとに日本生産性本部作成